



みやこ通信

令和2年
11月号

今月のテーマ

海洋プラスチックごみ問題と レジ袋有料化

“プラスチックは、非常に便利な素材です。成形しやすく、軽くて丈夫で密閉性も高いため、製品の軽量化や食品ロスの削減など、あらゆる分野で私たちの生活に貢献しています。一方で廃棄物・資源制約、海洋プラスチックごみ問題、地球温暖化などの課題もあります。私たちは、プラスチックの過剰な使用を抑制し、賢く利用していく必要があります。”

◆ 経済産業省ホームページより抜粋 ◆

海に流出する『プラスチックごみ』の量は世界中で年間800万トンと試算され、また2050年には海洋プラスチックごみの重量が魚の重量を超えることが予測されています。プラスチックごみは大きな形状のまま漂流するもののほか、細かい粒子として海洋に流れ込むマイクロプラスチックというものもあります。

マイクロプラスチックは以下の二つに分類されます。

一次マイクロプラスチック

歯磨き粉の研磨剤や洗顔料に含まれるスクラブなど、微小なサイズで製造されたプラスチック



二次マイクロプラスチック

プラスチック製品が自然環境の中で劣化し、粉々になることで生じた微小なサイズのプラスチック片



マイクロプラスチックのような微小な粒子は、海洋生物の体内に取り込まれ蓄積される可能性があり、それらを口にしている私たちの体内にもマイクロプラスチックが入り込む可能性があるのです。

(ヒトの体内に取り込まれたマイクロプラスチックは消化されずにそのまま排泄されますが、添加物などがどのように作用するかについては明らかに なっていません。)

マイクロプラスチック



スリーアール

このようなプラスチックごみを減らすために「3R」という取り組みがあります。



- リデュース (Reduce) …… マイバッグやマイ箸を持参し使い捨てを減らす
 リユース (Reuse) …… 詰め替えて容器を再利用する
 リサイクル (Recycle) …… プラスチックを分別回収し原料として再利用する

スリーアール

「3R」の取り組みの一環として
 プラスチック製買物袋の有料化が始まりました。

レジ袋有料化
 2020年7月1日スタート
 レジ袋削減にご協力下さい



日本のプラスチックごみ全体のうち、レジ袋はごく一部と言われているため、レジ袋だけ減らしてもプラスチックごみ問題が解決するわけではありません。

しかし、今まで何気なくもらっていた身近なレジ袋を有料化することは、プラスチックごみを取り巻く様々な問題や資源の枯渇、地球温暖化等について考えるきっかけとなるための政策と言えます。

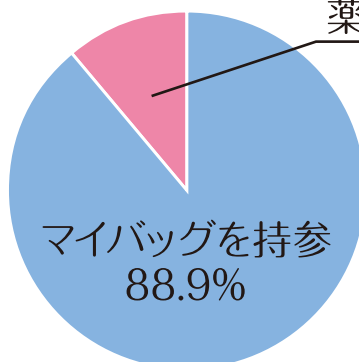
(出典：環境省 HP・海上保安庁 HP・経済産業省 HP)



みやこ薬局では

7月からお薬をお渡する時にマイバッグのご持参をお願いし、
 薬局の袋を使う場合は1円頂くこととしております。

マイバッグを
 持参された方
 の割合



薬局にて購入 11.1%



(みやこ薬局 8店舗 2020.7/1~8/31)

7/1~8/31の間では約9割の方にマイバッグを持参していただきました。
 お渡する薬の包装等の関係で、レジ袋の購入をお願いする場合がありますが、
 薬局では今後、環境に配慮した素材の袋に変更することを検討しています。
 皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

みやこ薬局ではレジ袋の収益金を
 「リレー・フォー・ライフ(日本対がん協会)」に全額寄附させていただきます。
 公益財団法人 日本対がん協会 <https://www.jcancer.jp/>

お薬や介護についてわからないことや、気がかりなことがありましたら、
 お気軽にお尋ねください。

担当 みやこ薬局 薬大前店

<https://www.miyako-ph.co.jp>

みやこ薬局

本店・山科店・薬大前店・マツヤスーパー店・北山店・紫竹店・大宮店・桂店